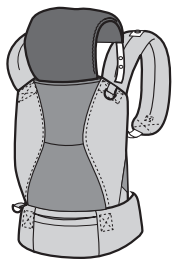
重要！将来的に参照するために保管してください。

①JP
150302

取扱説明書



はじめにお読みください

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のため、ご使用の前には、必ず本書をお読みの上、記載された内容にしたがって正しくお使いください。
本書をお読みになった後は、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。
ベビーキャリアを第三者に譲渡する場合は、取扱説明書も一緒に譲渡してください。

ベビーキャリア

型式	LBC-101
規格番号	EN13209-2:2005
適用対象範囲	3.5kg（新生児）～15kg

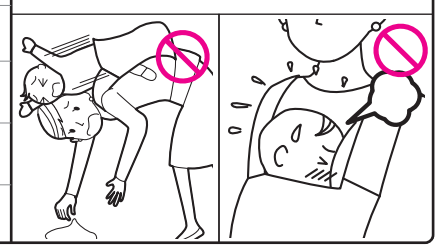
リーマン株式会社
〒496-0911　愛知県愛西市西保町南川原68-1
お客様相談室 **TEL.（0567）27-0173**
受付時間 月曜日～金曜日（祝日・弊社指定休日は除きます）
AM10:00~12:00　PM1:00~5:00

耐用年数：使用頻度にもよりますが、ご購入から約3年とお考えください。

表示マーク	この取扱説明書では、安全にご使用していただくため、特に守っていただきたいことなど次のマークで表示しています。いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。
警告	記載内容を守らないと生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。
注意	記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。
禁止	図示されている内容の禁止を示しています。
確認	安全のため、かならず確認していただきたいこと。
アドバイス	より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいこと。

⚠ 落下／窒息に注意。

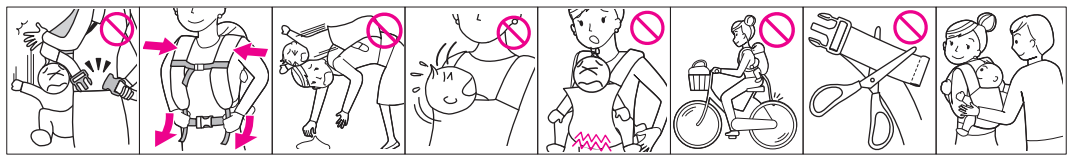
●お子さまの落下と気道圧迫に十分に注意して使用してください。



1 ご使用上の警告／注意

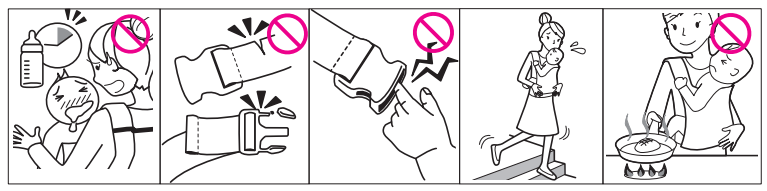
⚠ 記載内容を守らないと、生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。

●ご使用前に取扱説明書をよく読み、正しく使用してください。
●使用中に、バックル類を外さないでください。また、確実にとまっていることを確認してください。
●肩ベルトバックル、腰ベルトバックル、連結ベルトバックルを外した状態で使用しないでください。お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。
●お子さまの顔が使用者の身体に密着する、あごが胸につくほど首が強く曲がるなど気道をふさぐ状態は窒息するおそれがあります。特に首すわり前のお子さまは十分注意してください。
●肩ベルト、腰ベルト、連結ベルトはお子さまの体型に合わせて必ず調節し、緩めた状態で使用しないでください。お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。
●約 45° を超えて前かがみなどの無理な姿勢をとらないでください。お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。
●体重 3.5kg～7kg 以下、もしくは首のすわっていないお子さまは必ず新生児モードで使用し、必ず手で支えてください。
●お子さまがそり返ったり、動いて安定しない場合は使用しないでください。バランスを崩す危険があります。
●本製品を使用中に、スポーツ、走る、飛び跳ねるなどの激しい動作はしないでください。
●前向き抱っこでは使用しないでください。お子さまがけがをするおそれがあります。
●体重 15kg を超えるお子さまに使用しないでください。お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。
●本製品を使わずにお子さまを抱えられない方（高齢者や児童など）は使用しないでください。バランスを崩す危険があります。
●自動車・自転車・バイク・飛行機では使用しないでください。
●お子さまを乗せたまま、抱っこからおんぶ等に抱き方を変更しないでください。
●ベルトの先端の返し縫い部をほどいたり切り落とすなど、製品の改造や不当な修理をしないでください。お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。
●お子さまの乗せおろしは、安全な場所で低い姿勢でおこなってください。他の人に介添えいただくとより安全です。



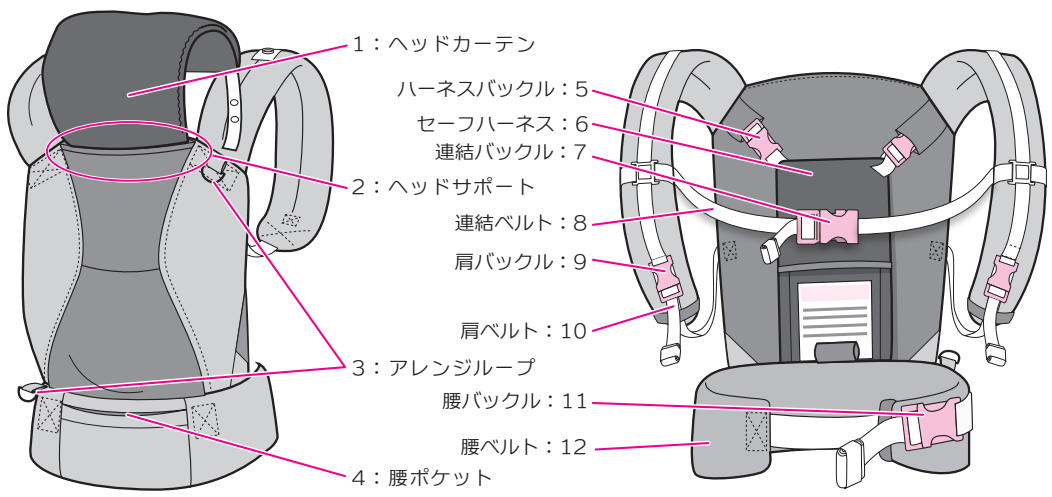
⚠ 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。

●授乳 30 分以内や、連続 2 時間以上使用しないでください。お子さまのおなかが圧迫されたり、使用者が体調を損なうおそれがあります。
●バックルなどの部品が破損したり、ベルトや生地などに破れ、ほつれ、きずがないか事前に確認し、破損等があれば使用しないでください。お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。
●バックル開口部にお子さまが手指を入れないように注意してください。また本製品を使用しないときも、バックルが開口していないよう、はめ込んでおいてください。
●通常抱っこでは足元が見えにくくなる場合がありますので、視界を確保するなど、歩行には十分注意してください。
●火気の取り扱い中や、ストーブなど火の近くに本製品を放置しないでください。
●直射日光のあたる場所に保管しないでください。変色や劣化が早まります。
●その他、荷物などの運搬や、お子さまを抱っこ、おんぶする以外の目的では使用しないでください。
●汗や水で湿った状態で強く圧迫すると、他に移染するおそれがあります。
●ポケットにはとがったものを入れないでください。お子さまがけがをするおそれがあります。

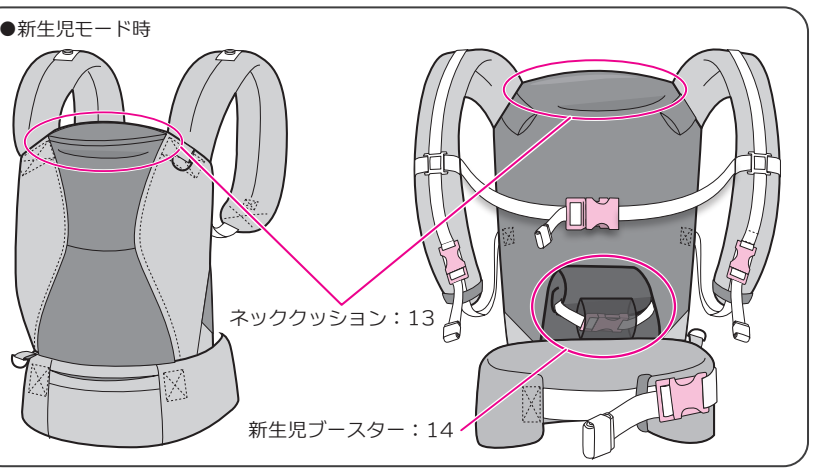


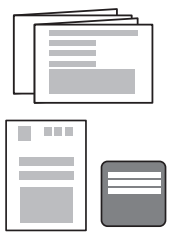
2 各部名称　ご使用前に、各部品がそろっていることをお確かめください。

※使用方法などをわかりやすく説明するために、この取扱説明書で使用しているイラストは、実際と異なる場合があります。



●新生児モード時





●取扱説明書
●お客様登録カード
●プライバシーシール

3 適用区分の確認　本製品は３通りの使用方法があり、お子さまの体重によって適用区分が異なります。

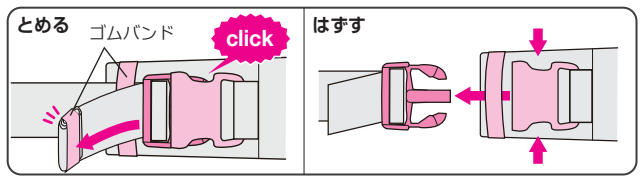
区分	体重　月齢のめやす	モード
新生児抱っこ A	2週間ごろ　4ヶ月ごろ　2才ごろ　3才ごろ 3.5~7kg ⚠ 7kg を超えても首がすわるまでは、新生児モードでお使いください。	**新生児モード** [1]ヘッドカーテン・・・・使用しない [13]ネッククッション・・使用する [14]新生児ブースター・・使用する お子さまの手足・・・・内側に納める お子さまの支え・・・常に手で支える
通常抱っこ B	7~13kg	**通常モード** [1]ヘッドカーテン・・・・・・使用する [6]セーフハーネス・・・・・・使用する お子さまの手足・装着者の胴にまわす お子さまの支え・なるべく手を添える
おんぶ C	7~15kg	

※お子さまにより、同じ月齢でも体格や体重には個人差があります。

4 基本的な使い方

●バックルの取付け・取外し

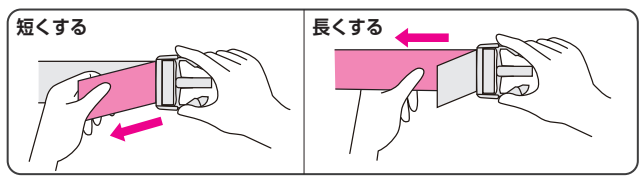
[9]肩バックルと[11]腰バックルはゴムバンドの中を通してバックルをカチッと音がするまで差し込む。
ベルトのあまりはゴムバンドの上に出し、端部のゴムバンドでまとめる。



●ベルトの調整

ベルトは使用者の身体にあわせて「きつめ」に調節する。

⚠ ベルトはお子さまと装着者の間にすき間がありすぎたり、左右のベルトの長さが違うと、お子様が落下し、けがをするおそれがあります。

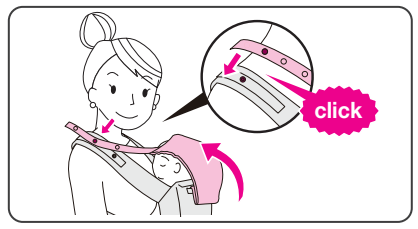


●[1] ヘッドカーテンの使い方

日差しがまぶしい時などに使用します。
お子さまが呼吸できるよう少し余裕を持たせて両肩のホックに留めます。

お子さまの鼻が地面や床に対して平行になるようにしてください。眠ってしまったら、やや上向きになっているのが理想です。

⚠ 新生児モードではヘッドカーテンは使用しないでください。ご使用にならない時は、[2]ヘッドサポート内に収納してください。

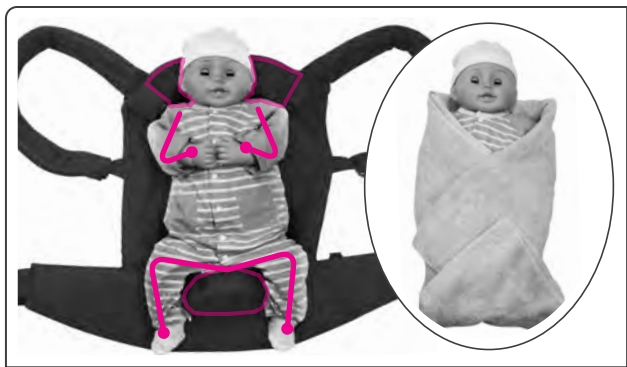


●[3] アレンジループ／[4] 腰ポケット

アレンジループはお好みでアクセサリーなどを掛けられます。自分なりのコーディネイトを楽しみましょう。
腰ポケットは携帯電話や小銭入れなどの小物を収納できます。

⚠ 重いものなど本体の形状が変形してしまうものや、長さ20センチ以上の紐や帯状の長いものなど、お子さまに危害が加わるようなものは取付けないでください。

●お子さまの乗せ方



新生児モード

お子さまが埋もれないように[14]新生児ブースターに乗せて「かさ上げ」します。お子さまの姿勢は胎児の時のように腕と脚を曲げて丸まるようにしてください。
後頭部の少し上あたりまで覆い、首がぐらつかないようにしてください。お子さまの大きさによっては、おくるみやタオル等の詰め物が必要になります。

通常モード

お子さまが落下しないように[6]セーフハーネスを使用します。両うでと両ひざが本製品から出て、装着者の胴回りに自然に回るようにします。

⚠ ●新生児期は未発達です。必ず手で支えながら、十分注意して使用してください。
●全ての使用方法において、お子さまを自分の体側に向けてご使用ください。

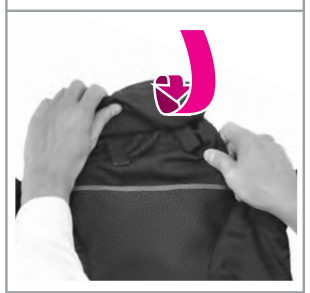
お子さまで使用する前にぬいぐるみなどで練習してください。その際に、腰ベルトの長さを腰骨の上でフィットするように調節しておいてください。

A 新生児抱っこ

⚠ 必ず安全な場所、低い姿勢で行ってください。他の人に手伝ってもらうと、より安全です。

①裏面を参照に、適用区分と適用モードを確認する。

②[13] ネッククッションをつくるために、ヘッドカーテンを丸めて、まとめる。

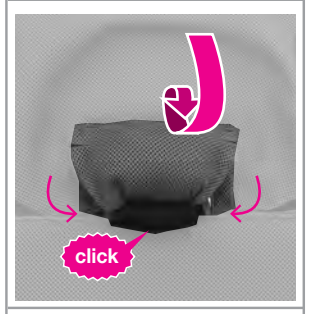


③ヘッドカーテンを[2]ヘッドサポート内に収納して、形を整える。

④[6] セーフハーネスのポケットにタオルなどを入れて［14］新生児ブースターの大きさを調整する。

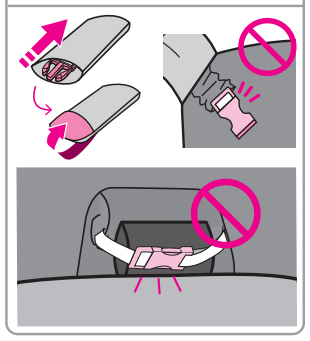
＜詰め物めやす＞
●身長 45～50cm
→ハンドタオル 2 枚
●身長 50～60cm
→ハンドタオル 1 枚

⑤左右の［5］ハーネスバックルを外し、［14］新生児ブースター（セーフハーネス）を小さく丸める。
ブースターの根元にある筒状のカバーの中でハーネスバックル同士を留める。



⚠ 肩側のハーネスバックルを筒状のカバーの中に収め、裏側の生地を折り返してふたをしてください。

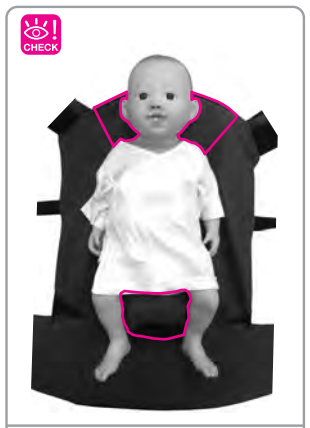
⚠ 新生児ブースターのハーネスバックルは、ブースターの根元にある筒状のカバーの中で留めてください。



⑥机などの台の上で、新生児ブースターにおしりが接するようにお子さまを寝かせる。

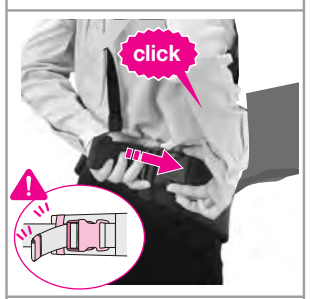
⑦後頭部の少し上あたりまで覆われることを確認する。
※身長が 55cm 以下のお子さまはおくるみに包み込み、新生児ブースターにおしりが接するようにお子さまを寝かせる。

バスタオル等でも代用できます。
※方法は弊社 HP などでも公開しています。



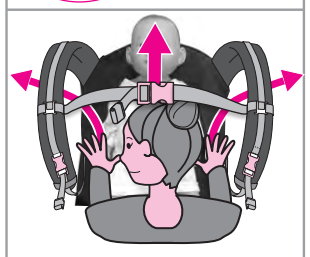
⑧[7] 連結バックルを留める。

⑨お子さまの足を上に持ち上げ、［12］腰ベルトを腰骨のすこし上あたりで留め、必要に応じて腰ベルトの長さを調節する。

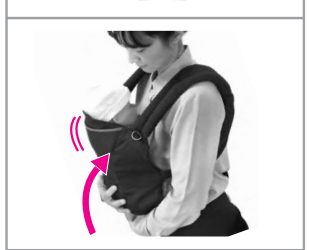


⚠ バックルとベルトの余りは、ゴムバンドの中を通してください。

⑩前傾姿勢になり、肩ベルトと連結ベルトの輪をくぐり、肩ベルトを肩にかける。



⑪本製品の外側からお子さまの体を抱えながらゆっくり起き上がる。



⑫お子さまの手足の位置を整え、余分なスペースがないように肩ベルトの長さを斜め前方に引いて調整する。

> これで完成です。

⚠ 新生児モードでご使用の際は、必ず手でお子さまを支えてください。

お子さまの降ろし方

逆の手順をゆっくり低い姿勢で注意して行う。

⚠ お子さまを降ろしてから、腰バックルをはずしてください。誤手順によりお子さまが落下するおそれがあります。

B 通常抱っこ

⚠ 必ず安全な場所、低い姿勢で行ってください。他の人に手伝ってもらうと、より安全です。

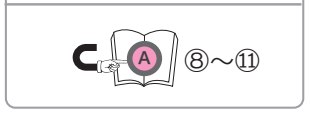
①裏面を参照に、適用区分と適用モードを確認する。

②新生児モードになっている場合は通常モードに戻す。

③ソファなどの台の上で、お子さまを本製品に乗せて、左右それぞれのハーネスバックルをとめる。
セーフハーネスを筒状のカバーの中に収める。

お子さまの成長に合わせて、肩がきついようであれば、脇の下からハーネスバックルを留めてください。

④「新生児抱っこ」の手順の⑧～⑪を参照して、お子さまを抱きかかえる。



⑤お子さまの手足の位置を整える。

⚠ お子さまの両うでと両ひざが本製品から出て、装着者の胴回りに自然に回るようにします。

⑥肩ベルトの長さを斜め前方に引いて調節する。

> これで完成です。

お子さまの降ろし方

逆の手順をゆっくり低い姿勢で注意して行う。

⚠ お子さまを降ろしてから、腰バックルをはずしてください。誤手順によりお子さまが落下するおそれがあります。

肩ベルトが緩みにくいときは他の人に手伝ってもらうと、より安全です。

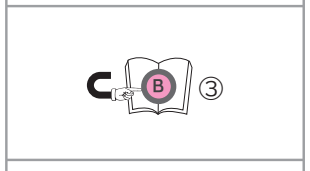
C おんぶ

⚠ 必ず安全な場所、低い姿勢で行ってください。他の人に手伝ってもらうと、より安全です。

①裏面を参照に、適用区分と適用モードを確認する。

②新生児モードになっている場合は通常モードに戻す。

③「通常だっこ」の手順の③を参照して、お子さまにセーフハーネスを装着する。

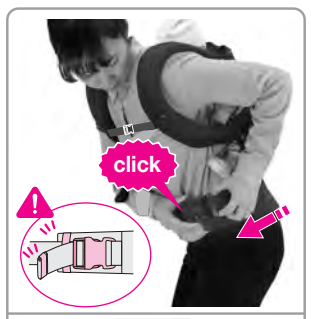


④左右の肩ベルトをかけ、お子さまを持ち上げる。

⑤前かがみの体勢で連結ベルトを脇の下と同じ高さで留め、必要に応じて肩ベルトの長さを調節する。

⑥前かがみの体勢で腰ベルトを腰骨あたりで留め、必要に応じて腰ベルトの長さを調節する。

⚠ バックルとベルトの余りは、ゴムバンドの中を通してください。



⑦お子さまのお尻の位置が腰ベルトより高くなるように斜め後方に引いて調節する。
（左右の肩ベルトを調節したり、腰ベルトの位置を下げる。）

> これで完成です。

お子さまの降ろし方

逆の手順をゆっくり低い姿勢で注意して行う。

新生児抱っこのチェックポイント

①お子さまの後頭部より少し上まで支えられている。
→覆われていない場合は新生児ブースターが高すぎます。詰め物を抜くなどして調節してください。

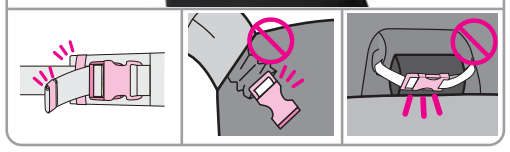
②お子さまの首が左右に大きくグラつかない。
→グラつく場合は、ネッククッションにハンドタオルなどの詰め物を追加してすき間を調整してください。

③お子さまの気道は確保されている。
→お子さまが呼吸できるよう、装着者とお子さまの顔の間に、ある程度すき間があるようにしてください。

④バックルやベルトが正しく調節 / 装着されている。
→左右の肩ベルト、連結ベルト、腰ベルトの合計 4 箇所のベルトとバックルが正しく調節/装着されているか再度確認してください。
→バックルとベルトの余りは、ゴムバンドの中を通してください。

⑤肩側のハーネスバックルが露出していない。
→肩側のハーネスバックルを筒状のカバーの中に収め、裏側の生地を折り返してふたをしてください。

⑥新生児ブースターのハーネスバックルが露出していない。
→新生児ブースターのハーネスバックルは、ブースターの根元にある筒状のカバーの中で留めてください。



⚠ 前向き抱っこは絶対にしないでください。

通常だっこ／おんぶのチェックポイント

①お子さまの両うで両ひざが出ている。
→お子さまの両うで両ひざが装着者の体に沿って、自然に左右に出るよう調節してください。

②バックルやベルトが正しく調節 / 装着されている。
→左右の肩ベルト、連結ベルト、腰ベルトの合計 4 箇所のベルトとバックルが正しく調節/装着されているか再度確認してください。
→バックルとベルトの余りは、ゴムバンドの中を通してください。

③お子さまの頭部が装着者の視界の妨げにならない。
→通常だっこにおいて、装着者の視界が妨げられる場合は、おんぶで使用してください。

ワンポイントアドバイス

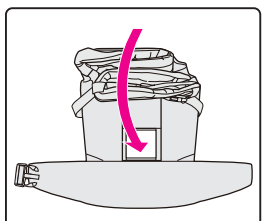
●前屈みになったときに落ちそうになった・・・。
→基本的に 45° を超えて前かがみにならないでください。お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。
すこし前かがみになっただけで、落ちそうになる場合は、各ベルトの長さを調節して余分なスペースがないようにしてください。

●夏の暑い日は密着すると汗だくになる・・・。
→夏場などの暑い日で、お子さまと装着者との間が高温になる場合は、お子さまの体勢をずらすなどして、こもった熱を逃がしてください。バックルを外したり、ベルトを緩めることは絶対にしないでください。お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。

その他

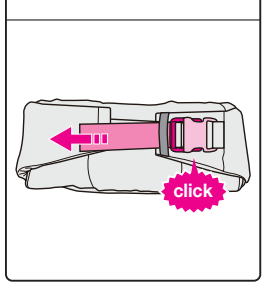
1 折りたたみ

腰バックルを外して、本製品を広げる。
左右の肩ベルトをまとめて、折りたたむ。



腰バックルをとめて、腰ベルトを調節する。

ベルトの余りはゴムバンドでまとめるとコンパクトになります。



2 日常のお手入れ

- バックルなどの部品が破損したり、ベルトや生地などに破れ、ほつれ、きずがないか確認してください。
- 掃除機などで、ほこりやごみを取ってください。
- 飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
- 中性洗剤を使用して、水またはぬるま湯で押し洗いしてください。
- 脱水はさけ、タオルなどで押し絞りし、風通しのよい日かげに干してください。

⚠
- 蛍光増白剤を含まない洗剤を使用してください。
- 塩素系漂白剤、洗濯機、脱水機、乾燥機は使用しないでください。
- 中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。本体およびベルトをいためるおそれがあり危険です。

3 保管／廃棄の仕方

- 製品本体を長期間使用しない場合は、お子さまの手が届かない、風通しのよい場所で直射日光を避けて保管してください。
- お住まいの各自治体の規定にしたがって処分、廃棄してください。